

# 技術交流情報



平成25年12月11日



## 【成果展開事業】何度も洗える高機能消臭和紙の開発

福井県越前市大滝地区（旧今立町）は、日本に紙が伝えられた4～5世紀ごろには既にすぐれた紙を漉いていたことが正倉院の古文書にも示されており、紙の原料である植物と良質な水に恵まれていたことから、和紙の製造が盛んで、およそ1500年に渡り和紙の伝統を守ってきた地域で「越前和紙の里」と呼ばれています。この地域に本社を構える石川製紙（株）（代表取締役社長 石川 浩 様）では江戸時代から創業をし、鳥の子紙や美術小間紙・印刷用紙・機能紙の製造販売を行っています。

現在、家庭で使用されている消臭商品は、活性炭やカテキン（茶葉の抽出物等）を除き、化学合成消臭剤が多く使用されていますが消臭効果が比較的小さく、消臭期間もかなり短いものが多い。一方、天然素材である活性炭を使用した消臭商品などは、冷蔵庫の中で使用されていますが、大型でかさばり、高価なうえ、リサイクルができません。

そこで、平成21年度成果展開事業で、即効性がある消臭剤と天然繊維の和紙とを組み合わせ、これらの定着剤として原子力機構の特許『高吸水性デンプンゲル』を用いる事により、消臭効果と持続性をかねそなえ、さらに5回水洗可能なりサイクル性を付与した比較的安価で軽い、高機能の家庭用消臭和紙を開発しました。



トイレに



タンスに



シューズに

☆☆ 一口メモ ♪(°▽°) ☆☆

### \* 高機能消臭和紙 \*

高機能消臭和紙は、30分の比較試験でアンモニアに対し90%以上、酢酸に対し80%以上の消臭効果があり、硫化水素に対しては1時間で80%以上、1時間30分で90%以上の消臭効果があります。また、3か月以上の持続性と年5回の水洗リサイクルでも消臭効果が落ちないことが確認されています。



## 【技術成果の展開】『伝えること、伝わること』

技術展開推進グループでは、成果展開事業や技術相談での成果をより多くの方々に知っていただくため、各地で行われる展示会に、積極的に出展しています。最近行われる展示会は、企業をつなげる「マッチング」を前面に出し、すぐ商談を行えるような環境が整っており、展示会を通じての技術移転や商品の市場展開など、多くの成果につながっています。今季は、丹南産業フェアなど県内の展示会をはじめ、東大阪産業展（主催：東大阪商工会議所）、しんきんビジネスフェア（主催：北陸地区信用金庫協会）など県外へも出向きました。ブースに来られるお客様は、もんじゅ、ふげんやレーザーに興味がある方、機構の名前を見てこられる方など、地域によって反応は様々ですが、お一人おひとりにお伝えできるよう、全力でご説明させていただいています。特に、展示中の成果物については、放射線照射による技に興味を示される方が多く、機構と盆栽用苔グッズ、ブルーカットレンズ、土に戻るプラスチックの意外な組み合わせに、多くの質問をいただきました。

私どもの役目は、ひととひとを結ぶ架け橋。しかし、お客様は、伝える者の資質も同時に見極めていらっしゃるように感じます。機構の技術と努力の結晶の成果物に恥じないようしっかりとお伝えできるよう、精進して参りたいと思います。



東大阪産業展テクノメッセにて



展示ブースの様子